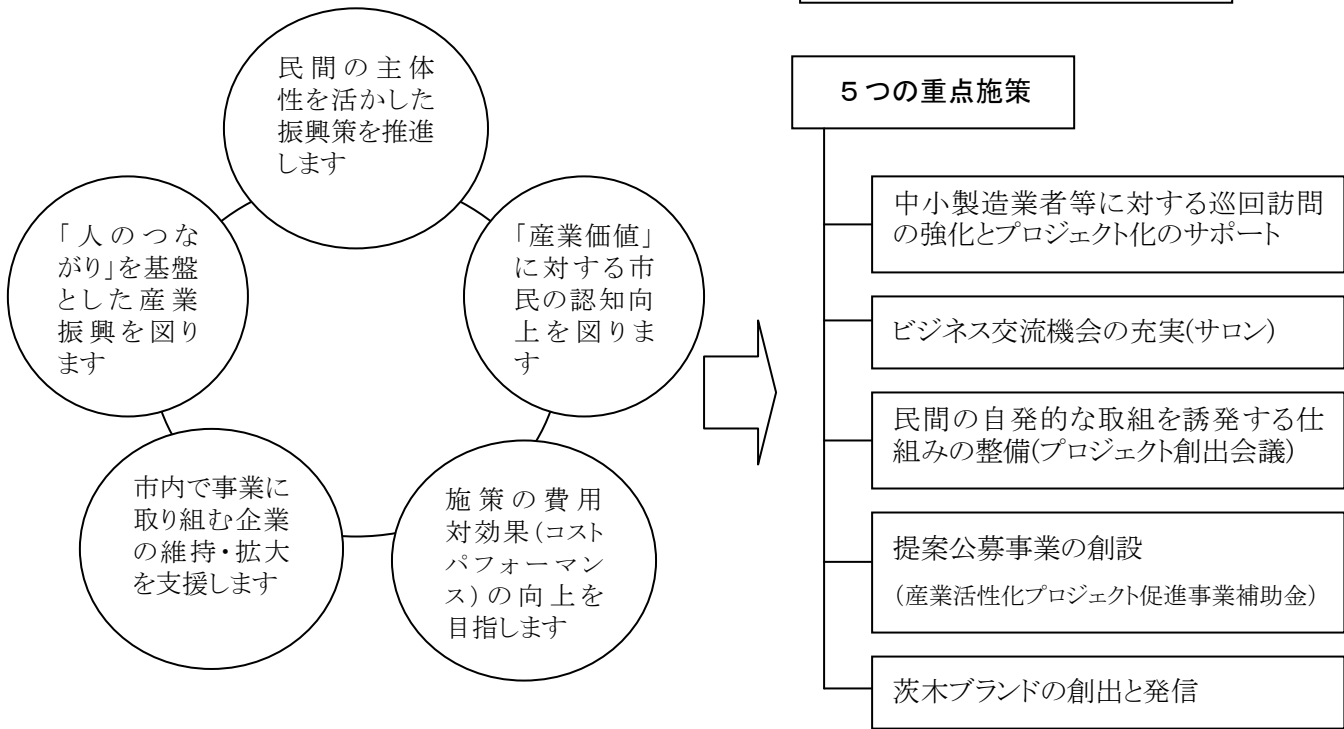
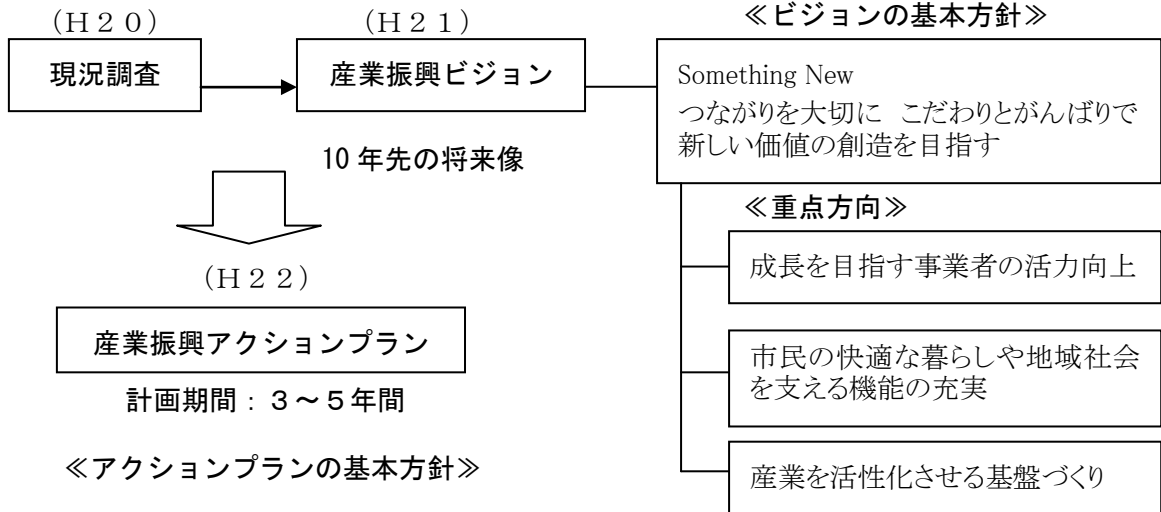


《前回委員会のポイント》

■本委員会の位置づけ（前回配付資料）



茨木市産業振興アクションプラン推進委員会

《目的》

- 定量的目標の妥当性についての議論
- 事業進捗に関する評価
- 振興施策の推進を図る上での意見、アイデアの聴取

《構成メンバー》

市民、農・工・商の事業者、専門家、商工会議所、大阪府

《委員の皆様にご議論いただきたいこと》

- 数値目標の妥当性と、これまでの事業評価について
- 茨木ブランド、民間発のプロジェクトの進め方、広げ方、アイデアなどの意見聴取
- ものづくり企業の交流と連携を加速するためのアイデアなどの意見聴取など

■前回会議（平成23年8月17日開催）議事の要点

<説明>

- 重点施策の各取組や指標の趣旨や進捗状況、指標などを説明した

<主な意見>

1. プロジェクト創出会議について

- プロジェクト創出会議は、プロジェクトの提案や進捗状況報告の場であることを確認

2. 中小製造業について

- 未訪問事業者を中心に飛び込み訪問の追加実施を説明
- 訪問件数40件はハードルが高いのでは
- 事業者の数が少ないので、訪問目的を調査にしてはどうか
- 業種を超えたマッチングを行うべきでは

3. 茨木ブランドについて

- 無形の技術、10～15年以上商売しているところの掘り起こしもしてほしい
- 女性の活用や掘り起こしのプロジェクトがあってもいいのでは
- がんばっている農業者を掘り起こしてはどうか
- 「茨木らしさ」が分かりにくい
- 茨木ブランドの基準は？
 - 「ブランド」という表現は極力使わない。茨木のええもんをPRするスタンスで、「魅力ある商品を発信する方法」と「市民が選んだ商品をPRする方法」を考えている
- まずラベルや旗を作って、広める手法はどうか
- 発掘隊や「茨木高校生が選んだ店」などの方法をとってはどうか
- アウトプット指標がない

4. 重点施策の相互リンク

- 5つの重点施策は相互リンクを意識して進めてほしい
(例：訪問をサロン参加につなげるなど)

5. 公募補助案件の評価について

- 公募案件の評価は別に部会を設けて行い、結果は次回委員会で報告する。